

登録コード	L2330100	開講年度	2026				
担当教員	鎌田 隆行			副担当			
授業科目	フランス言語文化特論						
英文授業名	French Literature and Culture: Specialized Study						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限
講義室	人文501 演習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前が対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力			フランス語の原書講読を行ない、文法・構文の理解、論説文の読解の実践ができるようになります。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降が対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			フランス語の原書講読を行ない、文法・構文の理解、論説文の読解の実践ができるようになります。			
	【2023年度以降が対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			フランス語の原書講読を行ない、文法・構文の理解、論説文の読解の実践ができるようになります。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	演習形式の授業です。 本授業では、フランス史における象徴的存在であるジャンヌ・ダルクを主人公とする物語を講読します。ジャンヌ・ダルクは15世紀の百年戦争期に登場し、神の声を聞いたとされる少女としてフランス軍を率い、歴史に大きな足跡を残しました。その生涯は宗教的情熱、政治的思惑、裁判と処刑といった要素が複雑に絡み合い、後世に多様な解釈と表象を生み出してきました。本授業では、平易なフランス語で書かれたテクストを用い、物語としてのジャンヌ像に親しみながら、歴史的背景や人物造形について理解を深めます。フランス語の読解力を養うと同時に、フランス文化・歴史におけるジャンヌ・ダルクの位置づけを考察することを目的とします。						
授業計画	1. ガイダンス：この授業の進め方、教科書、辞書、事前事後学習の方法について学びます 2. Domremy篇読解(1) 3. Domremy篇読解(2) 4. Chinon篇読解(1) 5. Chinon篇読解(2) 6. Orleans篇読解(1) 7. Orleans篇読解(2) 8. Reims篇読解(1) 9. Reims篇読解(2) 10. Compiegne篇読解(1) 11. Compiegne篇読解(2) 12. Rouen篇読解(1) 13. Rouen篇読解(2) 14. エピローグ読解 15. まとめ；この授業についてのアンケート（10分程度）を行います						
成績評価の方法	授業での講読演習（50％）と期末レポート（50％）により、総計点に基づいて成績評価を行います。						
成績評価の基準	講読演習：(1)構文の理解、(2)語彙の理解、(3)発話状況の理解、(4)文体的特徴の理解、(5)歴史的コンテクストの理解を判定基準とし、(1)～(5)に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。 期末レポート：(1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明できており、(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5)その上で自分の見解を提示できており、(1)～(5)に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。						
事前事後学習の内容	毎回の授業の終わりに学習内容を振り返って事後学習用の短答式課題を出題し、また、次回の内容につながる予習の指示を行います。次の回の冒頭で、前回の事後学習課題について討議を行います。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
履修上の注意	フランス語の原典講読の授業のため、フランス語学習者が対象です。 受講前に必ずこの授業のeALPSを参照してください。 当然ながら、不測の事態がない限り毎回出席すること。 この科目では授業内での読解・討議・課題への取り組みを重視します。これらは出席を前提として行われるため、欠席が多い場合、高得点は困難になります。						

質問、相談への対応	授業終了後，時間があればその場で質問に応じます。それ以外の時間はメールで対応します（メールアドレスはeALPSに掲載）。
教科書	次の教科書を使用します。大学生協で購入してください。 ボームルークリスチャン/丸山圭三郎『ジャンヌ＝ダルク』、朝日出版社、1990年、本体1,800円+税 ISBN: 978-4-255-35348-7
参考書	授業中に随時紹介します